

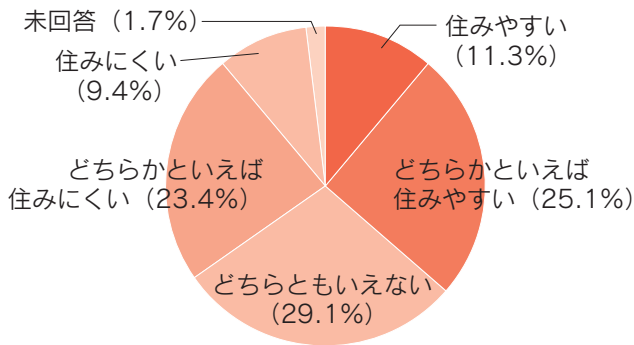
まちづくりに向けたアンケート

町では町民の皆さんの考えを反映した総合戦略を策定するため、アンケート調査を実施しました。紙面の関係でアンケート結果の全ては紹介できませんが、一部を掲載します。

①町の住み心地に対する意識

住みやすいと回答した36・4%の方は、自然環境の良さや災害の危険性が少ないことなどを評価しています。住みにくいと回答した32・8%の方は、交通の便の悪さや買い物する場所が

あなたは、芝山町の住み心地をどのように感じていますか
(回答数 585)



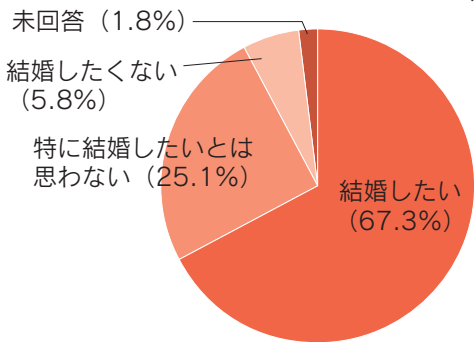
ないことなどを挙げています。
②結婚に対する意識

回答者の理想の子ども数の平均は2・29人であり、現在の子ども数の数、もしくは持とうと予定している子ども数の数が理想とする子ども数と同じと回答した方は61・1%、少ないと回答した方は28・3パーセントでした。

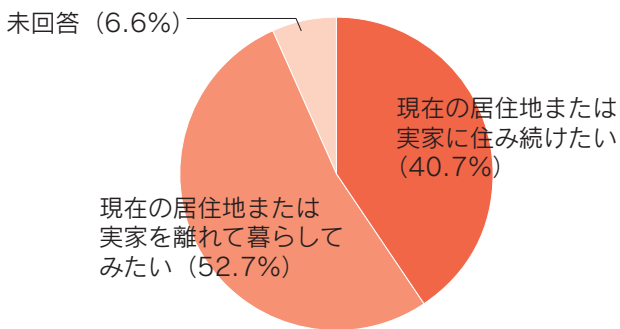
③若者の進学・就職に対する意識

希望する進学先(回答数50)
千葉県内：62%
うち近隣市町内：10%

あなたは、結婚したいと思いますか
(回答数 171)



若者世代の定住意向 現在の居住地に関する希望
(回答数 91)



東京都内：28%
希望する就職先(回答数89)
千葉県内：52・8%
うち近隣市町内：24・7%
東京都内：11・2%
「現在の居住地または実家を離れて暮らしてみたい」と回答した方のうち、「いつかは戻りたい」と回答した方は27・1%でした。また「いつかは戻りたい」と回答した方の戻る時期は、20年以降と回答した方が最も多く38・5%、次いで5年以内が30・8%、10年以内が23・1%でした。

アンケート調査の内容

次の3つのアンケート調査を実施しました。

調査票① 住民意識調査

町の住み心地や町民の定住意向、今後のまちづくりなどについての関心を把握するための調査。

調査票② 結婚・妊娠・出産・子育てに関する意識調査

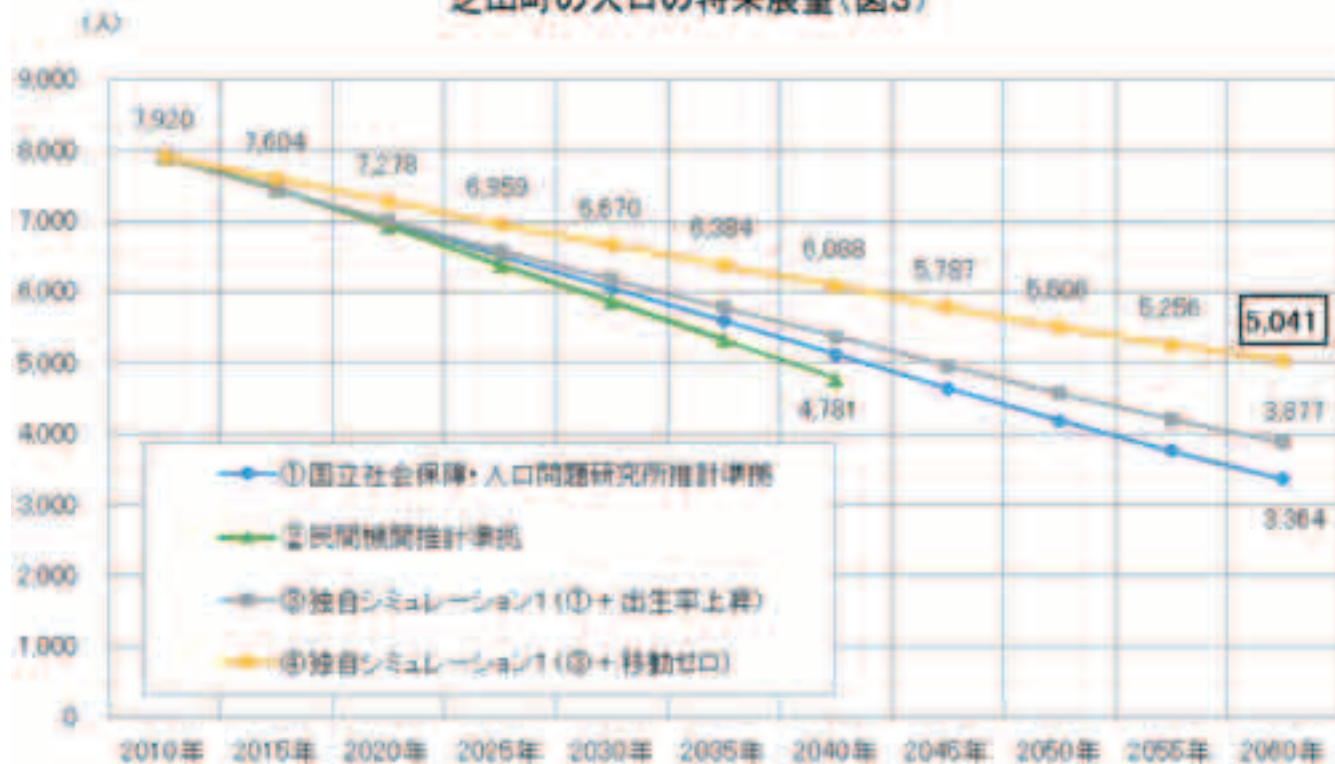
18歳～39歳までの町民の結婚や出産・子育てなどに関する希望を把握するための調査。

調査票③ 若者の進学・就学に関する意識調査

学生などを対象に将来の進学・就職に関する希望や未来の家庭・家族に関する希望などを把握するための調査。

町にお住まいの15歳以上70歳未満の方1500人を年代別・性別に無作為に抽出し、郵送にて調査票を配布したところ、585名から回答を頂くことができました。

芝山町の人口の将来展望(図3)



2060年に目標とする人口 **5000人**

芝山町
人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策展開の方向性

若者のUターン促進、移住定住の促進

人口減少・少子高齢化に対応した住環境の整備

人口の将来展望

町では、次の条件を基に将来人口を試算しました(図3)。

①若い世代の就職、結婚、出産、子育てなどに関する希望を実現することで、出生率を2030年までに1.68、2060年までに2.07に向上させます。

②移住・定住に関する希望の実現、新産業や地域資源を活用した新たな人の還流の創出、住み慣れた地域で安心して暮らせる持続可能なまちづくり、圏央道開通に併せた新たなひと・ものの流れの創出などにより、人口の社会増減を2030年までに0に収束させます。

試算によると、2060年時点で5000人の人口を維持できることとなります。

この人口を目指すため、「若者のUターン促進、移住定住の促進」「人口減少・少子高齢化に対応した住環境の整備」を施策展開の方向性とした町の総合戦略を策定しました。

芝山町の将来を指し示す羅針盤ともいえる総合戦略。中身は6月号で詳しくご紹介します。